

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：臨床研修部 小西 加純

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 小西 加純

聖路加国際病院 感染症科 森 信好

聖路加国際病院 感染症科 松尾 貴弘

血液透析患者を対象とした血液培養陽性率に関する研究

1. 研究の対象

2005年4月から2018年6月までに当院にて血液透析を受けている患者さんのうち、発熱時に血液培養の検査を受けた20歳以上の方。

2. 研究の目的・方法

血液透析患者の死亡率の第2位が感染症によるものです。また、血液透析の患者では血流感染のリスクが非透析患者と比較して26倍高いことが示されており、血液透析患者の血流感染を適切に治療することが求められています。血流感染が疑われる患者は血液培養陽性の結果がでるまで広域抗菌薬を投与する必要があります。不必要な広域抗菌薬を使うことは耐性菌を増加させることが知られています。本研究では不必要な抗菌薬使用を減らすため、透析患者の感染症で多いとされるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌の血液培養陽性となった患者を抽出し、リスクを点数化し、リスクの高い患者はより広域な抗菌薬投与を行い、リスクの低い患者の広域抗菌薬の使用を控える目的として研究を行う。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、抗菌薬の使用歴、バイタルサイン、血液検査、血液培養陽性の菌名と感受性、カルテ番号 等